※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	表計算実習	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自主制作教材・プリント・情報処理技能検定試験（検定対策問題集）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習を通しての学習が多いため、自分のペースで自主的に課題に取り組みましょう。
・実習を通して獲得する経験を重視し、適切にデータ処理を行うことをめざします。
・社会の各場面で、効果的な情報収集、情報処理ができるようなスキルを身につけましょう。
・常により効果的なものを求める態度を重視し、いろいろな手段での情報発信に取り組みます。

２　学習の到達目標

表計算ソフトウェアの活用に関する知識・技術を習得し、いろいろな場面での表計算ソフトウェアの利用法を理解しながら、情報を適切に収集・処理し活用する能力と態度を育てる。また、各種データの重要性を理解し、適切に処理し活用する能力と態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コンピュータおよび表計算ソフトにおける基本的な名称やしくみを理解したうえで、関数の使用方法や表・グラフ作成の操作を身につけることができる。	表計算ソフトを活用して表作成等に取り組む中で、技能を活用して効率的に表作成する力を身につけ、データをもとに分析して考察することができる。	実習時の出来栄えを個人内評価する中で、自らの成長を実感し、新たな課題を発見して改善に取り組んでいる。また、資格の取得等の目標に向けて前向きに取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td>4月(10月)</td><td>表計算ソフトの基本</td><td>表計算ソフトウェア基本
・セルと数値の入力
・四則演算</td><td>a: セル番地を使った計算方法を理解できている。
b: 見本の表を作成することができる。
c: 表計算の反復練習に意欲的に取り組んでいる。</td><td rowspan="2">授業内課題

実技テスト</td><td rowspan="2">学習状況の観察

成果物</td><td rowspan="2">授業内課題

学習状況の観察

成果物</td></tr>
<tr><td>5月～6月(11月～12月)</td><td>基本の関数</td><td>表計算ソフトウェア活用
・関数の利用
・簡単なグラフの作成
・表計算検定3級問題</td><td>a: 表計算検定問題に対して操作を理解して編集を行っている。
b: 与えられた課題に対して、同じ体裁や装飾で表作成できている。
c: 表計算の反復練習に意欲的に取り組んでいる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7月～9月(12月～2月)</td><td rowspan="2">表計算ソフトの応用</td><td>表計算ソフトウェア応用
・効果的なグラフの作成
・表計算検定２級問題</td><td rowspan="2">a: エクセルの編集機能を使用して表作成できている。
b: 与えられた課題に対して、同じ体裁や装飾で表作成できている。
c: 表計算検定問題に対して意欲的に取り組んでいる。</td><td rowspan="2">授業内課題

実技テスト</td><td rowspan="2">学習状況の観察

成果物</td><td rowspan="2">授業内課題

学習状況の観察

成果物</td></tr>
<tr><td>研究課題
・身近なデータや集計を取り、そのデータや表からグラフを作成する。</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度